

広島駅周辺地区の公開空間の利活用について ～新たに広島駅南口の東西通路へ憩い空間を創出します～

広島市、西日本旅客鉄道株式会社、広島電鉄株式会社の3者で構成する TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会※は、令和5年10月より広島駅及び駅周辺地区のペDESTリアンデッキや通路等の公開空間の利活用に取り組んでいます。これまで広島駅北口（新幹線口）や南北自由通路で実施してきた植栽やベンチの設置を南口エリアにも拡大し、「たちまち」行ってみたいくなる広島駅周辺地区への憩い空間の更なる創出を図ります。

1. 南口エリアへの憩い空間の創出について

北口（新幹線口）や南北自由通路での取り組みを通して、利用者のニーズや安全性を確認できたことから、令和7年3月24日から供用を開始した南口の東西通路の柱間のスペースを活用し、植栽やベンチを設置することで、広島駅周辺地区を訪れる方が思い思いに過ごしていただくことができる憩い空間を創出します。

【利用開始予定日：6月25日（水）】

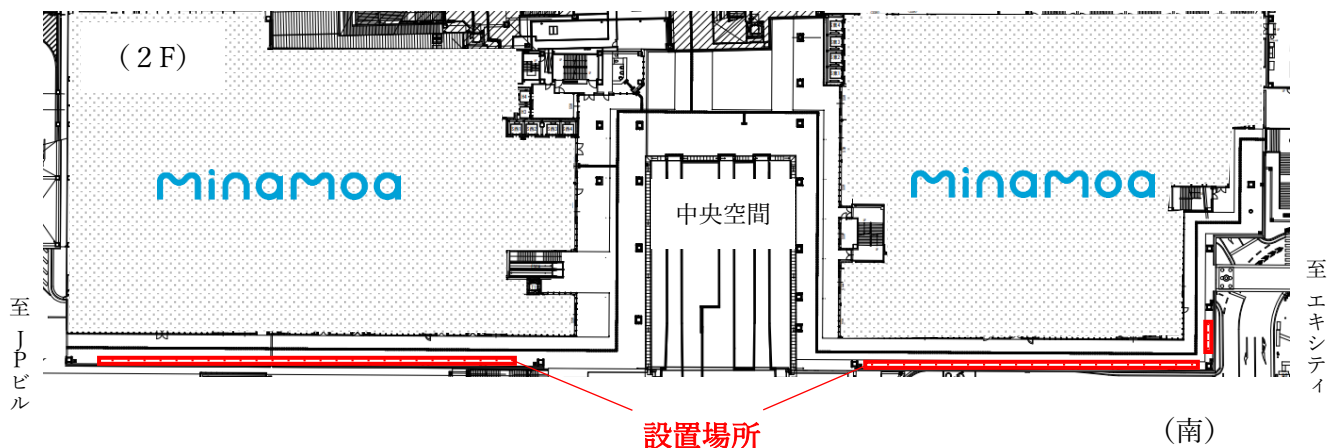
※ 工事の状況等により変更となる場合があります。



（植栽・ベンチの設置イメージ）



（北）



2. 今後の主な取組み

(1) 中央アトリウム空間等の空間装飾

(6/4～ 路面電車新電停ホーム上へ広告バナーを試験設置中)

(2) 北口（新幹線口）ペDESTロリアンデッキや南北自由通路に設置しているベンチ等の更新

(3) 冬季のイルミネーション装飾

今後も引き続き広島駅及び駅周辺地区において、公開空間等の利活用により、公共交通の結節点としてはもちろんのこと、水と緑に囲まれた憩いの場として一層魅力的な空間づくりを目指します。また、こうした取り組みにより、都心の東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区の回遊性の向上とともに、中四国地方の中核都市としての機能発揮に貢献してまいります。

※ TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会について

令和4年9月 広島市、JR西日本、広島電鉄の3者で「広島駅及びその周辺地区における公開空間の設定及び利活用に関する覚書」を締結

令和5年3月 取組みを推進していく指針として、ロゴ・スローガンを策定

令和5年9月 TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会を設立

令和5年10月 (広島駅周辺地区公開空間活用実行委員会)

北口ペDESTロリアンデッキや南北自由通路を活用した社会実験を実施

令和6年4月 暫定的な公開空間の利活用を開始

令和7年3月 利活用のエリアを南口に拡大

【覚書締結(R4.9.26)】



【合意内容】

- ・「カミハチ地区との回遊性向上」
「中枢都市としての機能発揮」を目的に広島駅・駅周辺地区を一層魅力的な空間としていく
- ・このため3者が協力し、駅周辺の公開空間の利活用を推進する

【ロゴ】



【スローガン】

新しい広島駅は、行くたびに、通るたびに、なにかに touch できて、なにかと match できる。そこに行けばなにかがはじまる。

「たちまち」、広島駅に集いましょう

【解説】

- ・広島弁で“とりあえず”を意味する「たちまち」と、新たなモノ・コトに触れる「TOUCH」、人や文化が交わる「MATCH」を掛け合わせた
- ・公開空間の利活用により、駅・まちの賑わいが相互に広がっていくことを想起させるデザイン・フレーズ
- ・「たちまち」ってみたいくなる魅力溢れる広島駅周辺地区へ